

シルバー な が の



公益社団法人
長野県シルバー人材センター連合会
〒380-0841 長野市大門町51番地1
TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665

「日本一の星空」 阿智村

環境省主催の二〇〇六年夏期「全国星空継続観察」一般参加団体による写真結果において夜空の明るさが星の観察に適していた場所において、浪合地区銀河もみじキャンプ場で撮影された星空写真が、参加した四百十六団体のうち一位に選ばれました。

これを機に阿智村では星空を観光資源と捉え、「星が最も輝いて見える場所」を謳い文句に「日本一の星空ナイトツアー」の実施や、天体などの知識を問う「阿智村スターマインスター認定試験」の創設など、「星」による地域づくりを進め、二〇一五年には「日本一の星空」を商標登録しました。

二〇一二年に始まった「日本一の星空ナイトツアー」は、初日の一般参加者は三名、初年度は六千五百人でしたが、その後はロコミなどでも広がり、二〇一九年には十五万人、累計六十万人が訪れるまでになっています。

二〇一九年五月に「日本一の星空ナイトツアー」の会場であるヘブンスそのはらで行われたギネスチャレンジ「同時に天体観測を行った最多人数」ではそれまでの記録を大きく上回る二千六百四十人のギネス世界記録を達成し、「世界一の星空の村」に向け、大きく飛躍を遂げることができました。

現在、コロナ禍により外出が難しい中ではありますが、アフターコロナの旅先としてぜひ阿智村の星空をご満喫ください。

写真提供

阿智☆昼神観光局

問い合わせ 0265-43-3001

アラカルト

◆◆ 企画者の声 ◆◆

健康講座で女性会員増強へ

(公社)岡谷下諏訪広域シルバー人材センター
専務理事事務局長 佐久 卓

令和2年度に当センターでは、「女性のための健康講座『いきいき体操』」を開催しました。

まず、開催までの経緯をお話しします。今年度は、「会員の増強」特に「女性会員増加」を重点事業にすえてスタートしましたが、年度初めからコロナ禍の影響を受け、入会説明会をはじめとし各事業のほとんどが中止となりました。

そんな中ではありましたが、就業部会・女性部・総務部会の各理事が中心となり、「コロナ禍だから」ではなく「コロナに負けない」取り組み、また、入会促進もさることながら、まずはシルバー人材センターを知ってもらい取り組みに向けて話し合う日々がありました。

事務局とも相談を重ねるなか、厚生労働省より委託を受けた連合会の事業である「高齢者活躍人材確保育成事業」の一環として企画することとし、万全のコロナ感染症拡大防止対策を講じつつ、「女性会員増強」を目的として行うことにいたしました。

次に、開催内容についてです。令和2年10月22日(木)「女性のための健康講座『いきいき体操』」を、岡谷市長

地公民館において開催し、講座に先がけて、シルバー人材センター事業の紹介を行いました。講師には、諏訪地方で活躍するPFAピラテスコーチの長矢良子さんをお迎えしました。心配された応募もすぐに定員に達し、24名が参加しての講座は、盛況のうちに終わることができました。

この講座は、椅子に座って行うため、足腰に負担をかけることなく体を動かすことができ、さらに脳トレを行いながらの体操とあって、参加者のみなさまに大変喜ばれ、楽しく、笑顔が絶えない講座となりました。また、コロナ禍の影響で外出する機会が減り、運動不足やコミュニケーション不足などストレスの蓄積があるなか、コロナに負けない体づくりを進める健康講座ともなりました。

参加者からは、「シルバーではこんな講座もやるんだ。是非、継続してやってほしい。」「会員になって働きたい気持ちはある。」「とのお声を頂きました。今後とも会員の健康増進のため、また、シルバー人材センターのPRと人材確保のため「会員増強」に向けて健康講座の開催を進めて参ります。

◆◆ 受講者の声 ◆◆

総合事業訪問型サービス講習

三村 はつみ

(茅野広域シルバー人材センターにおいて実施)

この度は、大変貴重な講習会に参加させて頂き、誠にありがとうございました。座学は三日間という長丁場で行って

けるのかとても心配でしたが、浦野千絵先生のユーモアを交えてのわかり易いお話について引き込まれておりました。

先生ご自身の体験や、現場の実態を山の事例をあげてお話をいただきました。

私達にはどうしても避けられない『老い』がやってきました。そしてそれは身体のみならず、精神的にもやってきて脳も働きも衰えてきます。

そんな高齢者の皆さんを地域で支え合っていくという取り組みは素晴らしいことだと思えます。しかし、そんな利用者さまは、支援が必要な程度も様々です。今回の勉強では様々な事例を学ばせて頂きました。少しでも寄り添い、利用者さま御本人の気持ちに少しでも近づき、「ご希望、願い、喜び」を感じて頂くお手伝いをさせて頂ければと、思いました。

ただ、二日目の「認知症」の方との関わり合いは、とても難しい事だと感じました。認知症の種類、程度、原因もこちらが把握し、理解し得る事は簡単ではないと思えます。

従って、それぞれの利用者さまへの対応は本当に難しいことだと感じます。再度テキストを読み返したり、経験を積むことにより少しずつ解決されるかもしれませんが、私



総合事業訪問型サービス講習(茅野市)

にとつて永遠の問題テーマになる気がしています。この度の講習会にあたりご尽力頂きました先生方、スタッフの皆様方に心より感謝申し上げます。

総合事業訪問型サービス講習を受講して

清水 文子

(茅野広域シルバー人材センターにおいて実施)

とても有意義な時間を経験させていただきました。自分も六十歳になり、認知症にもなり得ること。老化と向き合い、前向きに生きていかなければと思えました。今、思い出してみると、父・母も認知症の症状が出ていたんだと思います。二十年前でしたので、その頃は認知症という言葉はあいまいでしたが、二年前に介護職員初任者研修を取得しましたが、今回の講習会で改めて学び、実感し、参加できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

浦野先生の実体験の話も分かり易く、とても充実した時間を過ごせました。

こんな頼りない私ですが、笑顔で、出来ることを頑張りたいと思います。訪問型サービスAの仕事、ぜひ、お役に立ちたいと思えます。

健康食と郷土料理講習会に参加して

梅戸 幸子

(木曾シルバー人材センターにおいて実施)

シニア事務局よりこの講座の通知をいただきました。よく読むとシルバー人材センター主催とありました。私の頭の中にはシルバー人材センターの仕事は庭木の剪定や草刈り、草取り、デイサービス送迎など主に男性が関わっているイメ

「健康食と郷土料理」のタイトルが、どんなつながりがあるのか大変興味深く参加させていただきました。

フレイル予防で健康長寿ということ。これから自分が向かっていく高齢時代にむけて、とても大切な内容を、とてもわかりやすく、しかも楽しい雰囲気でお話をされ良かったです。栄養バランス、筋力運動にできるだけ日々心がけて頑張ろうと思いました。

調理実習も難しくなく簡単に作れるものばかりでした。「ひとつまみ」の塩かけも教えていただき良かった。

思ってもいなかった「修了証書」には大変驚きました。今後何かに役立てられるの心配ですが…。

今年度はいろいろ掛け持ちなので入会しても活動は無理ですが、来年度になれば多少の余裕も出てくるかと思えます。空いた時間で何か私にもできることがあればお手伝いさせていただきたいと思いません。

どんな内容のお手伝いがあるのか具体的な資料がありましたら参考にしたいのでいただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

庭木・庭園管理講習を受講して

(C・O)

(松本地域シルバー人材センターにおいて実施)

植木、庭木などといった、このような講習会があるらしいと知ったのはずいぶんと若い頃でした。

今回の講習会は、庭木や果樹の剪定、手入れの仕方でした。一日目は座学、続

く四日間は実技です。その道のプロから基礎を学びました。庭の樹木の手入れに活かせることは間違いありません。今まではよりは多くの知識を得ましたもの。最終日には刃物の研ぎ方まで教わったんですよ。

この講習を活かせる剪定の仕事やその他様々な仕事があり、スポーツ吹矢講座などのセミナーにも参加しました。楽しい仲間や諸先輩方が活躍しているシルバードです。一緒に活動できる仲間がいる。活動すれば体力も脚力もつきます。そしてごはんは旨い。一緒に笑い合える仲間、今日も会いに行こう。



庭木・庭園管理講習(松本市)

庭木の手入れ講習に参加して

須江 英樹

(佐久シルバー人材センターにおいて実施)

以前から庭木の剪定について興味を持っていましたが、退職を機に実際にやってみようかなと思っていたところ、ちょうどこの講習会があり参加させて頂きました。

座学では、まず木の種類を数多く覚えなければならぬことや樹木毎の剪定整枝の基礎知識を教わりました。講師の先生は丁寧で説明してくださいましたが、落葉広葉樹から始まり、常緑広葉樹、針葉樹、花木とあり、こちらも覚えることが多くメモするのが精一杯といったところでした。

特に興味があったのは、家の庭に多く植栽されている松やイチイなどの針葉樹とツツジやカエデなどの花木の剪定方法でした。これらについては時間があれば実践してみようと考えています。

また、現地講習では刈込と松の剪定をしました。梯子のロープで引張る立て方や三脚の立て方を教えていただきました。私は主に松の整枝剪定を中心に教えて頂きました。初めてする松の剪定は想像以上に難しく、頭では分かっているつもりでもなかなか思うような形になりません。やはり「慣れ」というか場数を相当地こなさなければ上手にはならない事を思い知らされました。また、一本の松を仕上げるのに時間もかなり掛かり大変な作業だなと感じました。しかし、剪定後に何とか形になった松の姿を離れて見ると、「まあ何とか纏まったか」



庭木の手入れ講習(佐久市)

と微かな自己満足を得られることが出来たのではないかと思っています。

五日間という短い期間で、剪定の全てを身に着けることはもちろん無理なことです。講師の先生の話聞き、実際に木に向かってみることで、庭木の剪定が上手になりたいという思いが更に強くなりました。

観光ガイド養成講習を受講して

熊谷 勝行

(上田地域シルバー人材センターにおいて実施)

今回の観光ガイド養成講習においては、梅雨期の悪天候に関わらずシルバー人材センタースタッフの皆様と各講師の皆様のご丁寧な説明や受講生の質問に対する確かなご回答をいただき厚く御礼申し上げます。

私は上田市に生まれながら、仕事を通じた社会貢献が当たり前の世界と思ひ社会生活に没頭してきましたが、全ての職を辞した現在、郷土のことを全く知らない視野の狭い自分に気付き、シルバードのホームページにて観光ガイドがあることを知ると共に、郷土の歴史を来訪するお客様に正しくお伝えして、様々な方々と積極的なコミュニケーションを取ることにより、これからの人生がより豊かになると思ひ受講を決意しました。

第一日目の座学では、これまで一般に認識されていた肖像画の違いや、真田氏三代の戦いの意味に触れ、上田城築城においては、徳川の城として築かれたものの、徳川に面影を残すことなく徹底的に破却されていたことには、改めて驚きを感じました。仙石氏三代・松平氏七代で



観光ガイド養成講座(上田市)

講師の声

シニア世代の女性いきいき講座 〜垢抜ける旬顔メイク〜

令和2年12月1日、小諸北佐久シルバード人材センターのご協力を得て小諸市市民交流センターにおいてシニア世代女性向け「垢抜ける旬顔メイク」をテーマに、長野市から美容講師の市川愛子さんと母親の順子さんの2名をお招きし、眉メイクのポイントやシニアメイクのビフォーアフターを実践頂きました。

今回は、市川愛子さんに寄稿をお願いします。また、同様の講座は、「顔ヨガとメイクアップ講座」(天龍村)、「若返りメイクアップ術」(飯田市)としても開催されました。

講師のご紹介

市川愛子先生

コスメサロンアイシーシャ代表
美容家・メイク講師



1974年7月生まれ(46歳)
1993年 コーセイ化粧品長野支店入社・美容部員
2008年 コーセイ化粧品本社美容教育部・全国スタッフ教育
2015年 コスメサロンアイシーシャ創業

店舗を中心にメイク・パーソナルカラーを活かしたレッスンや講座など、美容を通じた「女性のキレイと元気」サポートに定評があり県内外でも講師活動を行っている。

子供の頃から化粧品店で楽しそうに働く母の姿を見ていたうち、美容の仕事に興味を持ち化粧品会社に就職。

店頭販売スタッフや後輩指導を経て本社教育スタッフとなり、全国のスタッフ指導・ブランド育成・世界コンテストの審査員など様々な分野に携わった後40歳でUターン、長年の夢だった母と一緒に化粧品専門店を実現しました。

市川順子先生

エステティシャン



1948年10月生まれ(72歳)
化粧品・エステに携わり40年、今なお現役。順子ママの魔法の手と親まれ、施術や接客サービスに定評がある。

右側はパウダーでふんわりと描いた眉。シニア世代は眉が薄くなってきている方が多いので、粉のタイプのアイブロウパウダーとブラシを使って描くと自然に仕上がります。

また、お悩みで多い眉の白髪には、眉マスカラで色をコートすると白髪が目立たなくなります。



【眉の基本】

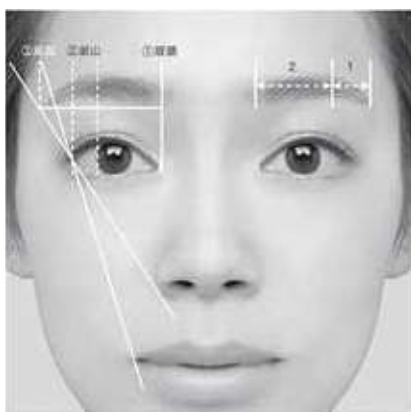
- ①眉頭: 目頭の延長線上から
- ②眉山: 黒目の外側と目尻の延長線上の間
- ③眉尻: 小鼻と目尻の延長線上

顔の印象を決める眉

コロナ禍でマスク生活が長く続く中、マスクをしても隠れない「眉メイク」に参加者の興味が一番集中しました。

よくありがちなのが写真左側の眉。ペンシルの力加減が強く、ぼかしていない為きつい印象になり、細すぎるのも時代遅れに見えてしまいます。

眉のバランス



■眉の基本プロポーション

- ①眉頭の位置は目頭の垂直線上
- ②眉山の位置は、黒目の外側と目尻の外側の垂直線上の範囲
- ③眉尻の位置は、小鼻と目尻の延長線上と口角と目尻の延長線上の範囲

※「眉頭から眉山:眉山から眉尻」の比率は、「2:1」に保ちましょう。

は、初代仙石忠政による上田城復興と、その途中での忠政死亡による復興の中断は惜しまれてなりません。また、私の生地である塩田平の多くの溜池は、二代政俊・三代政明によるものであり、現在もその恩恵に授かっていることを考えれば、お二人の偉業が偲ばれます。

第二日目を以降の実習では、講師の皆様豊富な知識と長年のガイド経験に基づく分かりやすいご説明に、日々の弛まぬご努力を窺うことができました。特に印象に残っているのは、山城としての活動拠点であった真田氏本城跡を訪れ、当時の戦国ロマンを感じる事ができました。

今後私が観光ガイドとして活動するに於いて、真田氏・仙石氏・松平氏の活躍と歴史のポイントや、別所三楽寺・塩田平の歴史を再度学び直して知識を深めながら、自分自身も成長していきたいと思



この基本を押さえておけば顔の形に合った眉が簡単に描けます。

眉のお手入れをする時は、基本の眉を描いた後にはみ出ている部分のみハサミでカットすると失敗しにくいですが、慣れるまではたくさん練習してみてくださいね。

講師が一人一人の眉をアトバイスし、素敵に変身した眉に参加者の笑顔があふれていました。メイクは身だしなみを整えるだけでなく、メイクセラピーがあるように心にも作用します。

その他、化粧前の保湿ケアの大切さや、似合う色の選び方、ファンデーションは薄く顔の中心にのぼし、粉白粉をつけるとマスクに色が移りにくくなるなど、ほんの少しのコツでメイクがキレイに楽しくなるコツをお話いただきながら、シニアメイクが仕上がっていく様子に皆、目を輝かせて見ていました。



～ビフォー～ ～アフター～
(マイナス10歳顔)

メイクが仕上がった後には仕上げの笑顔トレーニングを伝授いただきました。

マスクをしていると表情が乏しくなり、表情筋の衰えで顔がたるみやすくなくつてしまいます。素敵な笑顔と若々しさを保つ顔ヨガは楽しく気軽に出来るので日々笑顔を意識してほしいですね。



たるみを防ぐ
おだんごロックのポーズ

- ① 上の歯を10本見せて頬を上げて笑う
- ② 上げた頬が下がらないように親指と人差し指で頬を支えて10秒間キープ
- ③ 鼻でゆっくり呼吸して10秒間を3回くりかえします



▲ 講習会のようす

普段あまり喋らない方や、意識していないと頬が上がりにくくなっています。頬が上ると若々しくいきいきした表情になります。筋肉は何歳になっても鍛えられる性質があるため、早い人なら2週間位から変化します。

眉と表情が柔らかく変化し、講座開始の時と雰囲気がとても変わったのがわかりました。

最後に順子先生よりシニア代表としてメッセージをいただきました。

「私は現在72歳ですが、娘と毎日楽しく仕事をしています。60歳を過ぎてからもエステの新しい資格を取得するために一人で東京のスクールに通った事もあります。なんでも興味のある事はやってみたくなるのです。人生100年時代、私よりもまだまだ若い皆さまにも色々チャレンジしてほしいなと思います。一緒に頑張りましょうね」

参加者からは「最近ではコロナ禍で外出機会も減りメイクもほとんどしていなかった」

「プロの話は目からうろこの事ばかりで参加して良かった」と喜んでいました。

化粧品店や化粧品カウンターに足を運んだことのない方や、相談するのにハードルが高いという声がたくさんあがっていました。はじめは少し勇気がいるかと思いますが、キレイになりたい気持ちちは皆同じなので気軽に相談してみてください。

講師から受講生や
シニアの皆さんへのメッセージ

市川愛子先生から

コロナ禍にあつてマスク顔の日々の中で「綺麗にすること」を忘れがちな今、眉毛が一番に目がいくところ。元々メイクは眉が決まると言っても過言でないほど。眉が決まるとおしゃれをして外に出たくなります。

最初は緊張していた皆さんが、身を乗り出して聞き入ってくださり、どんどん笑顔になっていくのが嬉しかったです。シニア世代の人にとってでも若々しく綺麗を続けてほしいなあとと思います。

市川順子先生から

興味のあることをやる場があるのは、とても幸せなこと。仕事があれば気も使うし、おしゃれもする。元気の素は働くこと。外へ出ましょう。同じ世代の皆さんとご一緒出来て楽しかったし、私も元気が出ました。

公益社団法人
小諸北佐久シルバー
人材センター

〒384-0027
小諸市六供二丁目2番5号
TEL 0267-24-0333
FAX 0267-24-0633

- ・理事長 吉澤 忠幸
- ・副理事長 柳澤 治夫
- ・専務理事・事務局長 小林 憲一
- ・法人設立 昭和63年7月26日
- ・構成町村 小諸市、御代田町、軽井沢町、立科町
- ・会員数 678人(令和2年12月末現在)
- ・契約金額 303,484千円(令和元年度実績)

シルバーだより



Komoro



小諸市東部より浅間山を望む

地域の概要

長野県の東部に位置し、小諸市と北佐久郡(御代田町、軽井沢町、立科町)を活動拠点としているのが小諸北佐久シルバー人材センターです。

この地域は、北に活火山浅間山、南に八ヶ岳や蓼科山が連なり、遠く西にアルプスの山並みが望める風光明媚な地域で、自然豊かなまちです。

軽井沢町は避暑地にふさわしい涼やかな気候で、小諸市、御代田町、立科町は、昼と夜の温度差が大きい内陸性気候ですが、年間を通じて雨の日が少なく、国内でも屈指の晴天率を誇る地帯です。



センターの課題

持続可能なシルバー人材センターを目指し、適性就業を推進するために派遣事業への切り替えを行いました。公共を中心に、受託事業における請負継続の派遣事業への切り替えを2年かけて行い、ほとんどの請負継続の受注を派遣事業に移行しました。また、民間の請負継続も派遣事業への切り替えを進め、昨年十二月末の派遣事業の契約金額は、一億二千八百万円となり、県下二十一シルバー人材センターのトップの契約金額になったところです。

しかし、受託事業は請負継続が少なくなつたことから、剪定、除草、清掃作業が主流となり、十二月末現在、九千三百

万円減の契約金額が一億七千四百万円となり二億円を割る状況になっています。これは、適性就業を推進した結果です。公共は勿論ですが、特に民間の派遣事業の新規開拓と、受託事業の剪定、草刈り等の現状維持をするための会員確保が喫

緊の課題と考えています。また、昨年の三月三十一日をもって会員互助会が解散になりました。会員同士の絆を深めるために、会員が主体で運営する旅行や同好会の設置に取り組む必要があると考えています。

マナー交通安全講習



シルバーまつり



地区懇談会



庭木庭園管理講習



刈払機取扱安全講習



日帰施設 派遣になりました

活動の紹介

公益社団法人
飯山地域シルバー
人材センター



飯山駅に到着した北陸新幹線「はくたか」

〒389-2253

飯山市大字飯山1461

TEL 0269-63-2915

FAX 0269-67-2915

- ・理事長 小川 恵一
- ・副理事長 高橋 一彦
- ・専務理事・事務局長 坪井 学
- ・法人設立 平成4年4月2日
- ・構成市町村 飯山市、木島平村
- ・会員数 430人(令和2年3月末現在)
- ・契約金額 203,036千円(令和元年度実績)

シルバーだより



HIYAMA

地域の概要

当地域は長野県の最北部に位置し、北は新潟県境に接し、中央には大河千曲川が南北にゆったりと流れています。日本海側気候により冬は一面銀世界に覆われ、周辺には日本を代表するスキー場が連なっています。春は菜の花が咲き誇り、夏は緑鮮やかな田園風景が広がり、秋には黄金色の稲穂がたなびき、四季の移ろいが美しい地域です。

豊富で清涼な雪解けの水により、当地のコシヒカリは県内トップの特Aランクを誇り、おいしい米として内外から高い評価を受けています。

平成27年3月には待望の北陸新幹線飯山駅が開業し、首都圏や北陸方面から当地域へのアクセスが格段に向上しました。観光や交流人口増に大きな期待をしているとあります。

センター事業について

センターへは様々な仕事の依頼がありますが、当地域では雪片付けや屋根の雪下ろしといった雪国ならではの依頼が多くあります。もちろん会員は雪国育ちですから雪の扱いはお手の物です。

独自事業の正月用「しめ縄」は、夏に青刈りをした稲わらを使い、会員の丁寧な

作りこみで質が高く、多くのリピーターを抱える当センター自慢の「逸品」です。飯山駅前テナントショップ「シルバーしろかね」を開設しています。観光ガイドの会員が当番を務め、会員の作品や野菜等の販売のほか観光案内も行い、冬季を除き無休で営業しています。当地にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



春の原風景・残雪と菜の花畑



アンテナショップ
「シルバーしろかね」



冬季の雪下ろし作業



庭木の手入れ講習会



シルバー祭り



自慢の「しめ縄」



お掃除の仕方とさわやか健康セミナー

活動・地域の紹介

当センターは令和3年に30周年を迎えます。実行委員会を立ち上げ、式典の内容などを検討しています。

最近の動静

新型コロナウイルス感染症の影響により連合会においても様々な事業が中止になりましたが、いくつかご報告します。

○要請活動の実施

10月9日に長野県及び長野県議会に、同23日に長野労働局に対して、シルバー事業に対する一層の支援等についての要請を行いました。



長野県労働局
梅田職業安定部長への要請



長野県産業労働部
林部長への要請

○第4回理事会

12月10日ホテルメトロポリタン長野に

において、業務執行状況の報告などについて開催しました。

○理事長・事務局長合同意見情報交換会

寄せられた議題に対する取組状況等を取り纏めた資料を送付する形で行いました。

○オンライン会議の開催

新型コロナウイルス対策のため、集合形式ではなく、オンライン形式での会議が開催されるようになりました。



オンライン会議風景

- ・第3回道道府県シルバー連合事務局会議 (1月13日)
- ・第2回事務局長会議 (1月26日)
- ・北信越シルバー人材センター連絡協議会 県連合事務局長会議 (2月16日)
- ・第3回安全・適正就業推進委員会 (2月25日)

オンライン会議については、メリットとしては「開催地が遠路の場合は時間や経費が節減できるし、何より天候の心配をしなくてもいいのが何よりである」、「交通機関などで人と接触することがないのが新型コロナウイルス対策としては一番良い」、デメリットとしては、「やはり直接会うことであるいろいろな情報を得たり、刺激を受けたたりすることで日常業務に活か

すことが出来るのではないか」、「パソコン画面から参加者の顔などは見えるけれども何かもの足りなく感じる」、「やっぱり人と会うのが一番」などの意見がありました。

確かに、参加者が一堂に会して会議を行うことは大切なことだと思えますが、新型コロナウイルスの感染状況の推移を見極めつつ、オンライン形式のメリットも取り入れながら今後の事業を進めることも考慮していく必要があるのではないかと感じていきます。

会員の減少に 歯止めを!

新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、昨年に比べて会員数が減っています。例年第4四半期に退会者が大幅に増える傾向があります。

新年度に向けて会員数の減少を抑えていきたいと思います。コロナに負けるな!

会員数月別推移



編集だより

2020年の我が国の高齢化率は28.7%で世界一であるが、これは約45年後の38%まで続く予測されている。その原因は平均寿命の延びではなく、少子化(出生率の低下)が主な要因であるとのこと。そして、未婚化や晩婚化にその主な原因があるとのことである。

一方、日本の社会保障費を見ると約7割が年金や介護などの高齢者向けになっており、若年世代には受益が乏しい状態になっているようである。加えて、非正規労働者の増加など、若者にとっては日々の暮らしに精一杯で、未来を描けない状況が続いているのではないだろうか。

確かに今の高齢者は、ゼロから今の日本を築き上げた立役者と言えるだろう。しかし、これからの日本を若者世代に託していく立場でもある。

人生百年時代を迎える現在、高齢化をポジティブに考えようではないか。葛飾北斎が『富嶽三十六景』を描いたのは六く七十歳代だったとのこと、豊かな創造性が発揮されるのはまさにこの年代との証でもある。

健康寿命を延ばして介護事業に頼らず、自ら働き続けることで年金にも過度に頼らない。その点でシルバー事業やシルバー会員の生き方は世界のトップランナーとしての範を示していると言えます。

更なる福祉向上を声高に叫ぶのもひとつだが、我々世代が頑張つて若者世代の社会保障の充実に結びつけるのも一興ではないか。コロナ禍の中ではあるが『若者(孫)に夢を、日本(後世)に希望を』を目指してファイト!